

(別紙2)

【泉澤 俊一 氏 (再任)】

泉澤氏は、監査責任者として、独立行政法人や大学法人の監査業務に数多く従事し、豊富な実務経験を有している。国の地方独立行政法人の会計制度に係る委員として制度設計に携わり、制度を熟知している。

また、都の地方独立行政法人評価委員や都立病院経営委員、他県の研究所評価委員等を歴任し、自治体運営への造詣も深い。

令和元年10月からは、地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの監事として監査業務に真摯に取り組まれ、財務管理、経営管理その他都産技研が行う事務又は事業の運営に関し優れた識見を有していることから、引き続き、監事として任命する。

【大串 淳子 氏 (新任)】

大串氏は、弁護士として企業法務の分野において豊富な実務経験を有し、コンプライアンスや手続面でのチェックを多数行ってきた。その高度な専門的識見を生かし、都産技研の監査業務について着実な実施が期待できる。また、自治体の情報公開審査会委員の経験があり、自治体運営にも精通している。

なお、大串氏の監事選任については、東京弁護士会から推薦を受けているほか、外部有識者(5名)に説明の上で意見を聴取し、候補者として異論はないとの意見を頂いている。

以上の点により都産技研の監事として適任であると考えられることから、監事として任命する。